

はい!

やくも町議会です

第 69 号

令和3年5月

編集/議会広報広聴常任委員会



一人1台のタブレット端末を使った授業
……八雲小学校

映像配信中! YouTube
「八雲町議会」で 🔍 検索



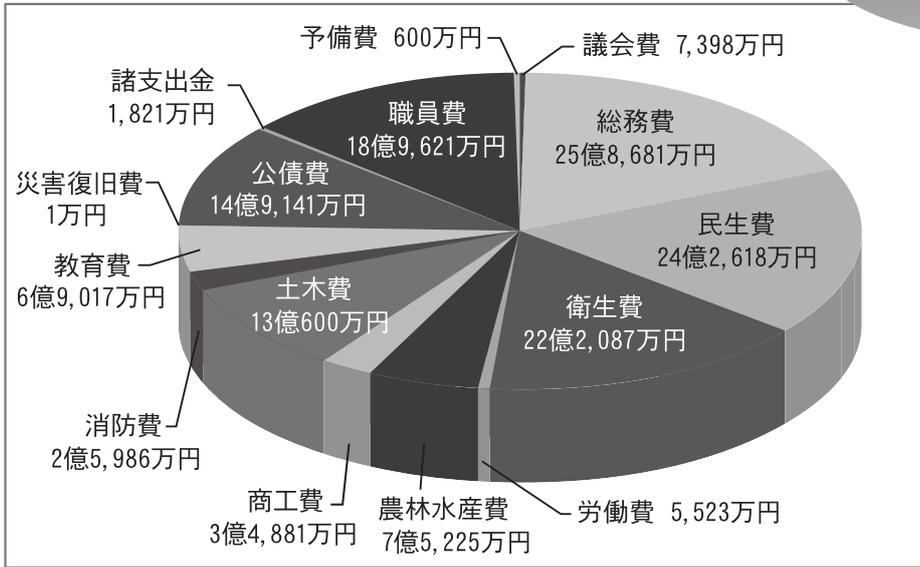
主な内容

	ページ
○令和3年度予算概要	②
○令和3年度予算ここが知りたい(予算特別委員会)	⑥
○一般会計補正予算(定例会・臨時会)	⑪
○5名の議員が町政を問う(一般質問)	⑫
○議員定数・議員報酬の改正	⑰
○議決・賛否一覧他(定例会・臨時会)	⑱
○常任委員会の活動(所管課報告)	⑳
○ドイツから八雲町に移住、ロビン・フランクさん(耳をすまして)	㉔

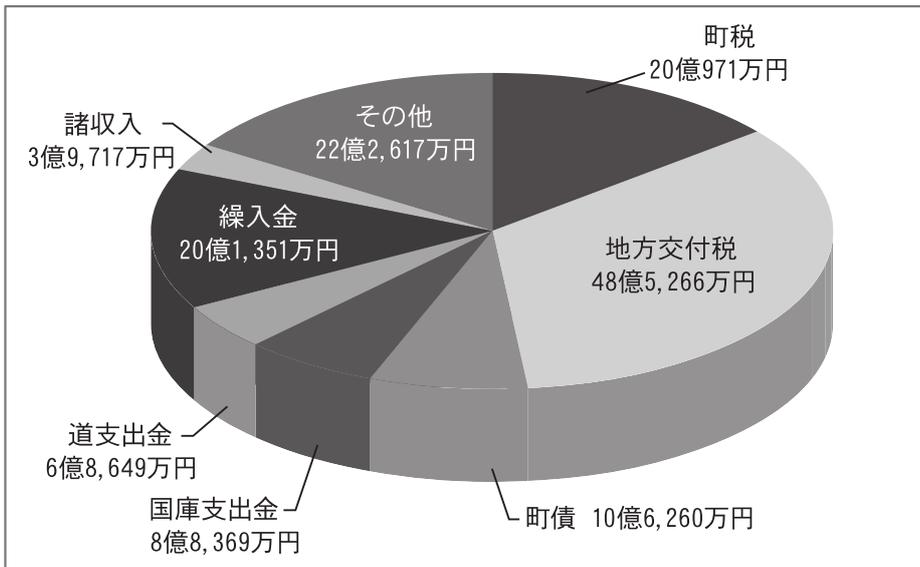


一般会計歳出 141億3,200万円

令和3年度予算



一般会計歳入 141億3,200万円



一般会計・特別会計・企業会計総額
282億6618万3千円

◆予算特別委員会委員長報告

令和3年度は前年度同様に、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中での予算執行となります。

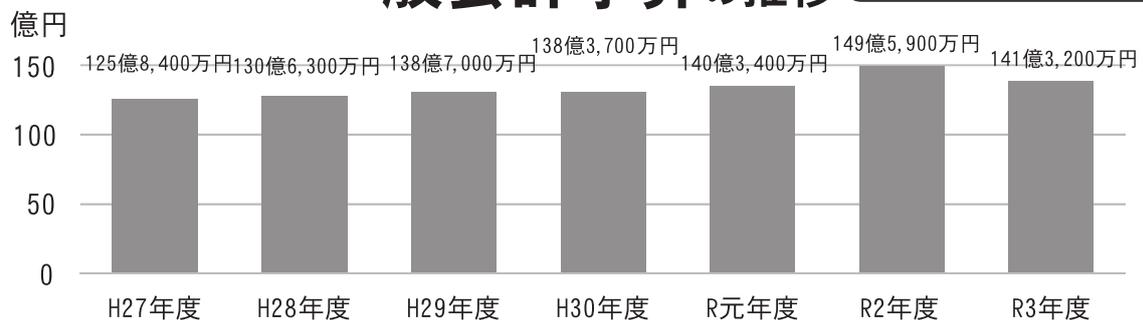
八雲町PR事業については、これまでの効果から、事業の必要性は認識しているところですが、特に町外におけるPR事業の実施にあたっては、「ウィズコロナ」・「アフターコロナ」という観点から、事業の実施や方法について、状況に応じて慎重に検討していただき、最小の経費で最大の効果を得ることができるよう努めていただきたい。

第1回定例会 令和3年3月10日～3月17日

一般会計		141億3,200万円	5.5% 減
国保会計	特別会計	27億4,489万円	0.3% 増
後期高齢者会計		2億3,784万円	4.2% 増
介護保険会計		19億9,923万円	1.2% 減
熊石地域簡易水道会計		8,381万円	8.1% 減
下水道会計		6億8,944万円	3.8% 増
農業集落排水会計		7,195万円	25.9% 増
病院会計		企業会計	76億7,834万円
水道会計	6億2,868万円		2.5% 減
合計		282億6,618万円	2.2% 減

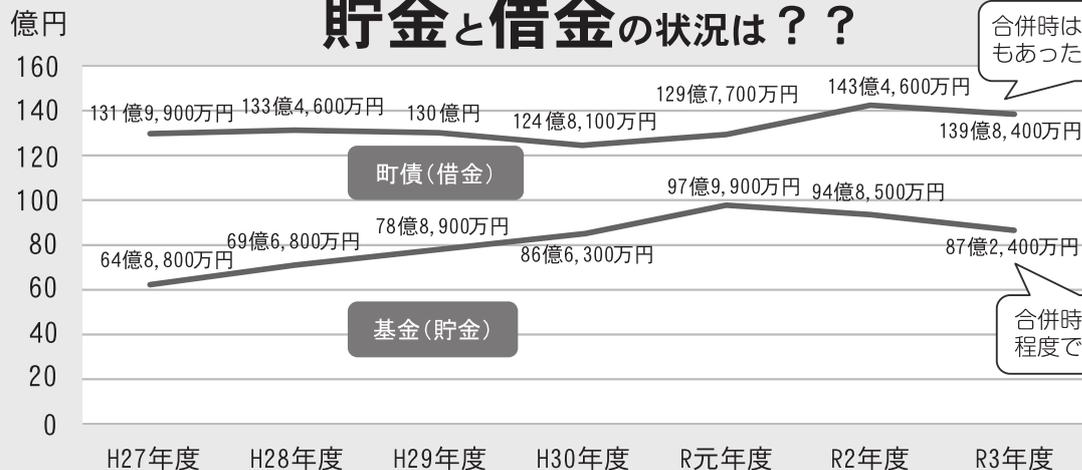
全ての予算審議を賛成多数で可決

一般会計予算の推移



ちなみに森町は約196億円、長万部町は約82億円なんです。 (大久保)

貯金と借金の状況は??



合併時は279億円超もあったんですね。

合併時は10億円程度でした。

R2年度、R3年度は見込み

地域おこし協力隊 配置事業

(継続6名、新規15名 計21名を予定)

9,005万2千円

なんと、合計
100人を目指
しています！



2021
主な予算を
ピックアップ!

地域会館整備事業

- ・相沼地区地域会館新築工事等
- ・山越中央会館屋根葺替工事他

1億2,907万3千円



子ども医療費 助成事業

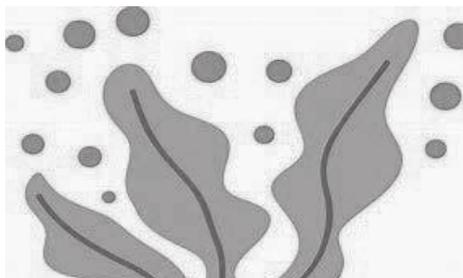
5,798万3千円



なんて子育てしや
すい町なんだ！
(大久保)

コンブ礁造成事業

1,300万円



サーモン養殖試験事業

熊石地域: 2,968万2千円

八雲地域: 536万2千円



空家等対策事業 2,100万円

- ①特定空家等の除却(解体)支援 2戸 補助率50%(上限50万円(R3~5年度))
- ②子育て世帯用住宅改修支援 2戸 補助率50%(上限500万円)
- ③戸建空家の除却(解体)支援(R3~5年度) 20戸 補助率50%(上限50万円)

除雪対策費

2億3,515万4千円

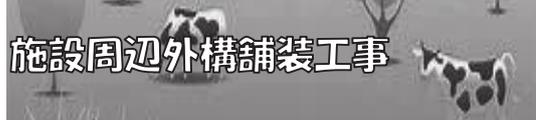


研修牧場施設

整備事業

2億4,048万円

(株)青年舎への施設整備費補助
施設周辺外構舗装工事



消防通信施設等 整備事業

7,656万円

緊急通報受付指令設備一式等



10年経って、
2台とも更新!
(三澤)

八雲中学校 大規模改修事業

1,086万8千円

実施設計業務



事業総額で約5億8千
万円を予定。八雲の核
となる中学校。将来を
考えると、改修ではな
く改築にした方がいい
のでは。 (関口)



みやもと まさはる 宮本 雅晴 委員長

今年の予算！

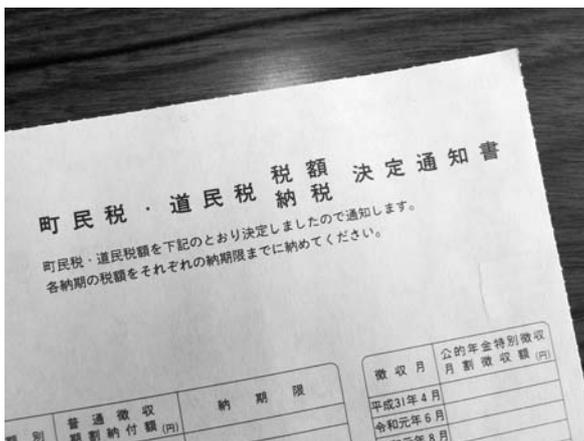
総務費

- Q** 地域おこし協力隊の配置先が農業と観光とのことだが、観光の仕事内容は？（赤井）
- A** 体験型の観光商品の開発、近隣町村との連携の推進を考えている。（課長）
- Q** 体験型なら、農林課・水産課・社会教育課など、関係課との連携が大切。（赤井）
- A** 大関小学校を改修して研修ができるようにと考えている。必要な課と連携して進めていく。（町長）
- Q** 町長は以前、100人の協力隊を目指すと言っていたが、今後漁業や福祉等への配置は考えられるか。（赤井）
- A** 福祉はもちろん、建設業や土木業など、全ての産業に入ってもらいたいと考えている。（町長）
- Q** まちづくりPR事業について、コロナ禍でイベント参加は検討とのことだが、これからはアフターコロナとして、リモートなど新たな方法を考える必要があるのでは

- ないか。（赤井）
- A** 企業版ふるさと納税を考えると、直接顔を合わせるこの大切さを感じる。ただ、今後は大人数で行くのは控える。（町長）
- Q** 特定政策調査検討業務事業はどのような事業か。（佐藤）
- A** ウイスキーの醸造、サーモン養殖、牛乳工場などの調査。（町長）
- Q** ワインよりもウイスキーに比重を移したのか。（佐藤）
- A** 八雲の地に雇用が生まれ、産業が活性化するなら何でもやってみたいと思っている。ワインやウイスキーなど、八雲町のブランドになりうるものは調査しながら進めて行くべきと思っている。（町長）

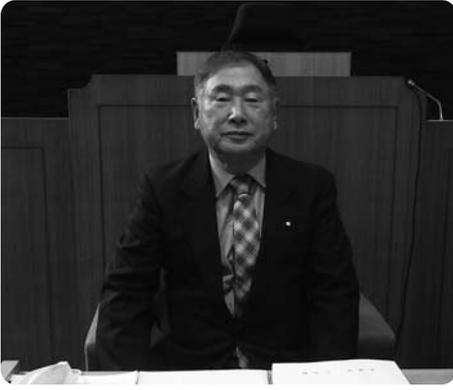


- Q** 収納関連システム改修事業については、延滞金が他の町でも大きな問題となった。町民への周知はどうするのか。（佐藤）
- A** 期限内に納めている方との公平性を図るために、延滞金の徴収は地方税法で定められている。今年度はシステム改修だけで、令和4年度から完全徴収する。町民への周知については納税通知書の中で注意喚起していきたい。（課長）
- Q** コミュニティ助成事業について、町内会は若い人が少なく、清掃、災害対応など、立ち行かない



委員会質疑

ここが知りたい



さいとう まこと
齋藤 實 副委員長

町内会がある。再編を促すべきではないか。(大久保)

Q 町連協と協議しながら進めた。 (課長)

Q 町政執行方針の中に戸別受信機の整備とある。私はスマートフォンやタブレットの方がいいと発言してきたが、どのような状況か。(三澤)

A 戸別受信機等となっている。いろいろな機種を検討している。(町長)

民生費

Q 独り暮らし高齢者訪問事業について、熊石地域では、独居老人が自宅で死亡し、2〜3日放置される事例が数件あった。もう少しこまめに対応できないか。(齋藤)

A 「見守り」「声掛け」は、これまで各町内会で個別に取り組んできた。ヘルパーは週1〜2回の訪問が限度だ。町内会とも相談したい。(副町長)

Q そういった実態があるのであれば、何らかの対応が必要ではないか。(副町長)

か。予算は足りているのか。(三澤)

A 3人のヘルパーで訪問事業をこなし、限られた時間の中で見回りをしている。ヘルパーを使わないでできることはないか勉強したい。(副町長)

Q 福祉タクシー助成事業について、課税世帯はタクシーチケットがもらえない。区分をなくすることはできないか。(齋藤)

A 持ち帰って研究したい。(町長)

Q 免許返納者に3年間タクシー券を配布することも踏まえて、80歳からの年齢を引き下げて支給する方法は考えられないか。(横田)

A 免許返納者だけではなく、全体を考えてタクシー協議会と協議しながら、前向きに考えていきたい。(町長)

商工費

Q 企業誘致促進事業について、山崎のソーラーパーク(大規模太陽光発電所)のソーラーパネルの耐用年数は、30年と聞いているが、

事業者間と改修等の協定はあるのか。(佐藤)



ソーラーパーク (大規模太陽光発電所)

A FIT (フィット) 固定価格買取制度) 期間中のみ稼働ということで、その後は地元譲り渡すか、売却するかは未定。廃棄処分する際のお金の積み立ては義務付けられている。(課長)

Q あわびの里フェスティバルが中止の場合、町内外の人にあわびを購入してもらうように検討すべき。主催者に意向を伝えてほしい。(千葉)

A 検討したい。(町長)

農林水産業費

Q 酪農ヘルパー事業の目的は、酪農家の休日とゆとりある経営だが、現状では本来の目的が達成できていない。町長はどう考えるか。(安藤)

A 酪農ヘルパーの人数を増やさないで後継者が育たない。今年は協力隊で人数を確保できると聞いている。研修牧場との連携など、ヘルパー組合と話し合いながら、要望のある農家に行き渡るように支援していきたい。(町長)



Q 法人になった酪農家はヘルパー利用組合から抜けてしまう。残された個人の農家が利用組合の運営費を賄う。結果負担が大きくなる。支援が300万円で足りるか。(安藤)

A 基本的には、酪農ヘルパーをお願いする農家が対価を支払うのは当然のこと。しかし、後継者のなり手不足もあり、300万円が多いのか少ないのかは議論の余地がある。町が支援しなくても研修牧場で支援できる方法を考えたい。(町長)

Q 研修牧場施設整備事業について、人口減少、少子化が進むと働く人も減っていく。小さな農家や法人が困った時に、どんなことがあっても支援すると約束できるか。研修牧場だけが残って、他がつかれるということがないよう約束してほしい。(赤井)

A 家族農業、法人に迷惑をかけずに、持続できるように連携していく。(町長)

Q 有害駆除対策事業について、高齢化も進み、若い人材の活用と

いう意味でも、ハンター専門の職員を採用すべきではないか。(三澤)

A 熊、鹿、アライグマの駆除は、外部委託を考えている。(町長)

Q ホタテ貝養殖漁業経営安定対策事業は、八雲・落部両漁協に預託している。その利用状況は？(黒島)

A 毎年4月1日各漁協に3千万円ずつ預託し、3月31日に町に戻してもらおう。令和2年度の貸付実績は八雲町漁協は38件、1145万4千円、落部漁協は15件、750万円。(課長)



Q 4月1日から3月31日までだと、借りたお金を3月末に返さなければならぬ。3月から6月までは耳吊りの人件費がかかる。6月に返すのであれば、漁業者に余裕ができるのではないか。(黒島)

A 漁協と、しっかりと話をしていきたい。(町長)

教育費

Q 読解力向上推進事業のリーディングスキルテストの対象学年は？(佐藤)

A 小学6年生と中学1〜3年生が対象。(参事)

Q 小学校低学年、中学年にも広げられないか。(佐藤)

A インターネットを介して行うテストで、対象学年が決まっている。6年生の結果を受けて、低学年に活かすことを考えている。(参事)

Q スキー学習の時間が減っているのではないか。健康増進、ウィンタースポーツに親しむ観点から、小中学生にスキー場の利用補助で

きないか。(大久保)
 (A) 教育委員会と相談して、減免あるいは無料にすることも考えていきたい。(町長)

病院事業会計

(Q) コロナワクチンについて、総合病院、国保病院の医療従事者に接種する際の事前訓練は予定されているのか。(佐藤)

(A) 総合病院は先行して3月22日から接種することになっている。3月19日には総練習的なものをスタッフを配置して行う予定。(課長)



(Q) ワクチン接種だけでは安心できないので、PCR検査を実施すべきではないか。(佐藤)

(A) 今は町民に対し、混乱なくワクチンを接種することが第一。PCR検査を全員にする考えはない。(町長)

(Q) 八雲町には看護師や薬剤師の奨学金制度しかない。医師の卵を育てるための奨学金制度を創設してはどうか。(牧野)

(A) ぜひ、検討してみたい。(町長)

(Q) マンモグラフィーは、なぜ挟むタイプを選んだのか。新しい方式があるはず。(三澤)

(A) 放射線室の技師が選び、選定委員会で決定。入札の際に、他の機能も検討するようにしたい。(課長)

(Q) この予算で決定後は、何も言えないのでは。(三澤)

(A) 具体的な機器を決定したわけではない。今後見積もりをもらってから最終判断となる。(事務長)

女性目線で選かべき!

総括質疑

(Q) 昨年の町政執行方針では「町民との対話重視」を掲げていたが、今年は株式会社を中心になっているように思う。協働のまちづくりをどのように考えるか。(赤井)

(A) 株式会社だけとは思っていない。コロナで町民との対話が難しくなった。意見交換を進めながら政策を行っていく。(町長)

(Q) 「役場庁舎等建設基本計画(案)」に対する町広報での意見募集期間が短すぎたのではないか。(佐藤)

(A) ホームページでは1ヶ月間募集していた。町広報の意見募集期間については検討したい。(町長)

(Q) 町政執行方針の中の航空自衛隊八雲分屯基地の「大規模訓練適地」と「新たな部隊の配置」というのは問題ないか。(佐藤)

(A) 大規模災害を想定した訓練だ。新たな部隊も常駐させたいと考えている。(町長)

(Q) 国立病院機構八雲病院撤退について何ら触れていないが、どう

考えるか。(佐藤)

(A) 何年も前に移転は決まっていた。昨年は順調に安全な移動ができた。財政、人口の減少は予想よりも少なかった。(町長)

(Q) 新幹線トンネルの北斗市から受け入れる残土の件はどうなっているか。(佐藤)

(A) 八雲町からは19万mを運んでいる。北斗市からも同じ量が運ばれるが、時期は未定。(町長)

(Q) コロナ禍での教育行事の進め方は?(三澤)

(A) 卒業式、入学式は児童生徒と保護者のみで行う。運動会、学芸会は昨年並みに行う。修学旅行は検討中。(教育長)

(Q) 新しい施策として、読解力調査導入は何か事例があったのか。(三澤)

(A) 小中学校の学力調査により、読解力が足りず、解けていない問題があるのでないかと結論づけた。(教育長)

発委第1号「八雲町議会議員定数条例の一部を改正する条例」

反対討論

定数16名から2名減の14名にすることは民意を削ることになり、定数減少による当選ラインの上昇は、議員のなり手不足の解消に矛盾するので賛成できない。

(横田喜世志議員)

発委第2号「八雲町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」

反対討論

現在の報酬から4万5千円〜5万円もの大幅な引き上げは、新型コロナウイルス感染症収束が予測できない状況下でもあり、反対である。

(佐藤智子議員)

議案第1号「令和3年度八雲町一般会計予算」

反対討論

町議選挙後とはいえ、議員報酬引き上げの418万円が含まれている。新型コロナウイルスで苦しむ人々がいる中で、町議だけが報酬を引き上げるとは町民から理解が得られないと思う。

役場庁舎建設については、建設場所に疑問を持つ町民があり、誰もが利用しやすい役場庁舎を目指すという理念に反する。

航空自衛隊八雲分屯基地に新たな部隊の配備を目指すことは軍事費の増加につながる。

新幹線トンネル要対策土処分は、現在の処分方法で安全性が担保されるのか疑問である。

以上の理由から一般会計予算には反対である。

(佐藤智子議員)

賛成討論

新庁舎土地取得は、議会の中でも特別委員会を立ち上げ、共議団の意見も十分に反映させながら議論してきたという経緯がある。

自衛隊の新たな配備は、国立病院が撤退し、人口減少という町の状況を考えると、新たな部隊の配備も選択肢として当然の帰結ではないかと配慮する。

新幹線トンネルの残土においても、主体は鉄道・運輸機構であり、町は機構に対して、しっかりと説明を求めていく立場であることは総務経済常任委員会での議論でも明らかである。

以上のことを踏まえ、持続可能なまちづくりを実現するために施策を検討されている町長の姿勢を評価し、賛成とする。

(三澤八雄議員)

賛成討論

人口減少、議員のなり手不足などの課題を受け、検討してきたところであるが、議員自らがより一層質を高め、民意を効率的に反映させることを基本に、町民の信頼を今まで以上に得るために、議会改革に積極的に取り組み、強い覚悟を持った行動が必要であると考え、議員定数を14名にするように賛成とする。

(関口正博議員)

賛成討論

議員報酬は現在まで15年以上見直しされておらず、算出根拠も不明確であることから、将来を見据えた議員のなり手不足の解消に向けて、算定の根拠を明確に定め、それに基づいた報酬額に改定することに賛成である。

(大久保建一議員)



1/21 臨時会
2/24 臨時会
3/10 定例会

令和2年度 一般会計補正予算

8億7,102万7千円追加

(補正後の総額 198億8,295万4千円)

補正の主な内容

- ・ 町内循環型商品券発行事業 1億6,929万7千円
町内消費の拡大を促すため「八雲町いきいき応援券」を配布します。
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 890万円
人件費や健康管理システム改修業務委託料などです。
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種業務委託料 3億296万1千円
医療従事者などへのワクチン接種に係る費用です。
- ・ 江差八雲間バス路線通年運行維持事業補助金 131万円
- ・ 地域間幹線系統バス路線維持事業補助金 249万8千円
バス路線の収支不足を補うために、八雲町に係る相当分を補助するものです。
- ・ 町道除排雪業務委託料 1,872万3千円
積雪量の増加による除排雪出動回数の増に対応するものです。



3/17 定例会
4/15 臨時会

令和3年度 一般会計補正予算

1億6,233万2千円追加

(補正後の総額 142億9,433万2千円)

補正の主な内容

- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種事業 1億1,032万9千円
人件費や予約管理システム導入業務委託料などです。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策宿泊助成事業 2,706万7千円
町内宿泊施設の利用者に対し助成することで、地域循環型の経済対策を行うものです。
- ・ 酒類販売事業継続支援金 601万1千円
対象事業者に、一律30万円の支援金を給付します。



一般質問

町政を問う!

※質問した議員本人が原稿を書いています。

一般質問とは？

町の仕事の全てを問いただし、自由な意見を述べ、それについて町の公式見解を引き出すことのできる機会。華やかであるが「力量」が問われる。

Q

八雲高等学校に衛生看護科の設置を

A

要請活動に取り組む

みやもと まさはる
宮本 雅晴 議員

問

近年、医療技術の高度化が進み、多くの命が救われ、守られてきたところであるが、看護の分野においても人間性豊かで看護に関する幅広い能力を備えた専門的知識が要求される新時代が来ている。全国的に看護師確保が大きな課題であると考えるが、町長の意見を伺う。

町長

北海道教育委員会へ要望した際には、八雲高等学校に衛生看護科を新設することについて、近隣に道立江差高等学校看護学院があること、少子化が進んでいる状況で現状の道立高等学校の配置を

維持することが難しいことなどにより、看護科等の専門学科の新設は困難であるとの見解が示されている。今後は道立江差高等学校の動向を見ながら、チャンスがあれば最善の努力をしたい。

まさしく、今では!
(三澤)



第68号(令和2年11月号)の宮本議員の一般質問の記事において、掲載した地図に古い情報が表記されておりましたことをお詫び申し上げます。

議会これからの予定

- | | | |
|------|-------|-----------------|
| 《5月》 | 13日 | 総務経済常任委員会 |
| | 20日 | 文教厚生常任委員会 |
| 《6月》 | 2日 | 議会運営委員会 |
| | 7日～9日 | 第2回定例会
全員協議会 |
| | | 総務経済常任委員会 |
| | 17日 | 文教厚生常任委員会 |

議会を傍聴してみませんか

次の議会は、

令和3年第2回定例会

6月7日(月)午前10時から
開会の予定です。

お気軽に足を運んでみてください。

YouTubeで映像配信もします

Q 教職員の变形労働時間制は

A 働き方改革推進のための施策の一つ

ともこ 議員
さとう 佐藤



問 教職員の「1年単位の变形労働時間制」は、函館市を含む渡島管内全域では今年度は先送りに

なったと聞いている。この制度は、教職員の働き方の改善にはつながらないと思うが、八雲町では導入することになるのか。また時期はいつになるか。

教育長 北海道では、令和2年12月に条例が制定されたので、基本的には活用できるようにするという方向。時期的なものについては、まだ見定めていない。

在校等時間が長い教頭や、部活

動を行っている中学校の実態もある。これらを考慮しなければならず、いつ導入するかなど、見通しは立てにくい。

問 この制度導入のために「帰れ帰れの時短ハラスメント」が起きるのでは？

教育長 そのようなことがないように各学校長に話していきたい。

【1年単位の变形労働時間制】
閑散期の労働時間を短縮し、その分を繁忙期にまわして所定の労働時間とすることで、長期休業期間において、休日を集約して確保することを目的とする制度。

Q 「子どもが元気な町、八雲！」をめざして

A 安心して子育てできる 施策を継続

問 ①産後うつや育児ストレスを軽減するために、家事や育児を手助けする訪問型の子育て支援に取り組めないか。

②図書館や体育館、プールなどは休みが月曜日で、祝日の振替休日と重なる。休館日の曜日変更はできないか。

③子どもたちが自由に遊べる空き地を考えてはどうか。

町長 ①家事をお手伝いするホームヘルプサービスの事業については町で行う考えはないが、子育て支援センターが中心となり、育児不安やストレス解消に繋がれる支援を継続していく。
②休館日は町の条例で定められているが、可能な範囲で開館して児童を受け入れている。
③公に管理されていない空き地については、管理者や大人の目が行き届かないため、安全と防犯の観

点から開放すべきではないと考えている。

Q 町営住宅入居者に 除排雪援助を！

A 特別な対応は困難

問 ベランダを塞ぐような積雪や屋根からの落雪で、雪に埋もれているような町営住宅が見受けられた。高齢者や身体の不自由な入居者には除排雪が難しい。何らかの手だてを考えるべきではないか。

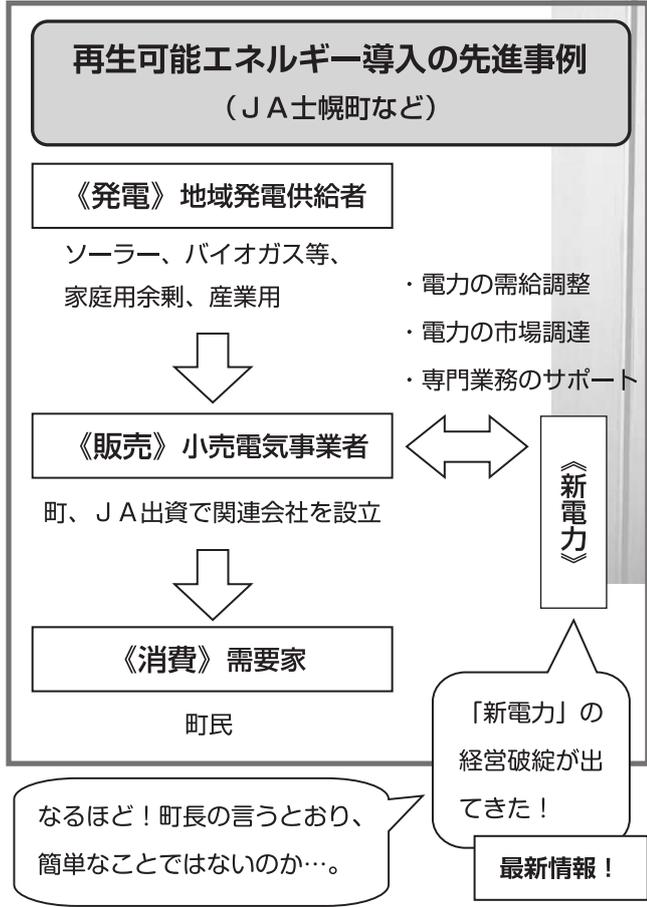
町長 町営住宅入居者は、除排雪に限らず、自らの生活に起因することは自らの責任、負担において対応することになっている。町営住宅では、他の入居者との協力・協働により、その生活と環境を管理するものであるから、町が特別な対応をすることは困難である。

雪のように冷たい答弁ですね！
(佐藤)

Q 電気代の外部流出を地域内循環にできないか

A 採算性に課題 町民の理解と協力も不可欠

みさわ 三澤 議員
きみお 公雄 議員



問 先進地事例をモデルにして電力の地域内循環のサイクルを作るといふ考えはないか。

町長 検討はしたが、採算性を含め、電気というのは難しいと認識している。今後研究していきたい。

Q 職員の女性比率をもっと高めるべきだ

A 採用試験で優秀な方を見極めることを優先

問 男性職員の育休取得率を上げる、遅くまでの残業を無くする等の取り組みで女性の受験者も増やす工夫を。

町長 女性の受験率を上げる必要は感じている。職員の数を揃えないと育休取得を進めづらい環境だ。部署も狭く、コロナを考えると新庁舎についても、育児の休憩が取れる場所の確保から考えなくてはと感じている。

Q 言葉の使い方を改め意識改革を！

A 実質的な暮らせる環境づくりを整備していく

問 男女共同参画の英訳は(Gender equality) 一方、男女平等の英訳も(Gender equality)。素直に男女平等を使うべきでは。この官製造語は素直に「男女平等」

を認めたくない勢力への忖度・配慮なのだから。「害」を「がい」としただけ。意味として「損なう」「傷つける」を含んだままだ。「碍」表記にしてイメージを変えたらどうか。

町長 イメージも大切だが、取り組みを積極的に推進し、意識の高まりが行動にも繋がっていくことが大切と考えている。

Q 「二海サーモン」の第3の海とは？

A 陸上養殖だ！

問 八雲地域にも空いている港や海域があるなかで、幼魚生産を進めるのは、他町への展開を考えているからか？

町長 熊石地域でのふ化事業・幼魚生産からの一貫養殖を考えると、採算ベースのスケールメリットを探っていく中では、まず陸上養殖を展開していく。

Q SDGs（持続可能な開発目標）の推進を

A SDGsの17の目標と関係性を持っている

よこたきよし
横田喜世志 議員



問 SDGsが掲げる17の目標に課せられたミッションは「世界を変革する」と国連サミットで採択された成果文書に書かれている。

「住み続けられるまち」「住みたいまち」になっていく。特に着目している項目として16項目「平和と公正をすべての人に」、17項目「パートナーシップで目標を達成しよう」について、八雲町はどのような取り組みを進めようとしているのか、町長の考えを伺う。

町長 2015年9月の国連サミットで、2030年を期限とす

る国際社会全体の目標として「持続可能な開発目標」、通称SDGsが採択された。達成には、企業・団体・自治体など、全ての関係者の役割が重視され、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境という3つの側面のバランスを取りながら、取り組むことが求められている。自治体行政が担う事務事業は、どの分野においてもSDGsの17の目標と関係性を持っている。事務事業を展開していく過程で、目標16及び17による推進が求められる、住民参加とパートナーシップによる協力関係を構築しながら、八雲町のまちづくりを進めていきたい。

この続きはYouTubeで！
(三澤)

議会のうごき

《2月》

- 10日 総務経済常任委員会
議会運営委員会
- 22日 議会運営委員会
- 24日 第2回臨時会
全員協議会

《3月》

- 4日 議会運営委員会
広報広聴常任委員会
- 10日～17日 第1回定例会
全員協議会
- 11日 総務経済常任委員会
- 12日～16日 予算特別委員会
- 17日 議会運営委員会
広報広聴常任委員会

《4月》

- 6日 広報広聴常任委員会
- 8日 総務経済常任委員会
- 15日 第3回臨時会
全員協議会
文教厚生常任委員会
- 16日 広報広聴常任委員会
- 28日 議会運営委員会



Q 学校の思い出を形に

A デジタル化を活かす！

あかい 赤井 むつみ 睦美 議員



問 ①八雲地域では、昭和40年以降、約26校が廃校となった。学校には、児童生徒はもちろん、地域の方たちの思い出もたくさん詰まっている。

そこで、新庁舎の移転に伴い資料館も移転予定なので、今まで閉校になった学校の思い出を展示する『学校の思い出コーナー』を設置してはどうか。最近ではデジタル保存も可能なのでそれほど広いスペースは必要ない。その際には、専門の学芸員を増員し、町民の楽しみを是非、増やしてほしい。

教育長 デジタル化により、コンパクトに保存でき、多くの方の目に触れるよう展示することで、八雲を訪れる方々にとっても八雲町の歴史に触れる貴重な機会となる。今は、新資料館への移転に向け、現在の展示物や収蔵庫にある文化財等の資料の整理に取り組んでいる。

今後は、ふるさと八雲の魅力の発信拠点としての役割を果たすことが出来るよう、新資料館の施設整備や事業展開の構想策定に取り組み、その推進体制についても検討を進める。

町長 学芸員については、職員の中にも資格を持った人が数名いるので、教育委員会と検討する。

Q コミュニティの拠点は？

A 地域の思いを支援

問 山崎小学校の閉校と共に、山崎・黒岩地区には保育園も小学校もなくなりました。スクールバスの運行により、学校への登下校には困らないが、休日や雨の日の遊び場、子育て中のお母さん達の情報交換の場、地域のコミュニティの拠点が失われてしま

う。学校の統廃合によって起こるいろいろな弊害は、この地区だけではなく、今までも見られたと思うが、今までの対応と今後の対策を伺う。

町長 閉校に伴って、地域のコミュニティについて具体的に話し合ったことはないが、今、必要だと強く感じている。地域に住んでいる方たちが、そういう気持ちを起こすことで、町が支援していかうと考えている。

問 地域の方たちの思いはあっても、直接町長に訴えるわけにもいかず、行政は縦割りなので、どこへ伝えると良いのかわからない。地区の担当職員を決め、その人が窓口となり、地域が寂れないように話し合える仕組みは作られないのか。

町長 地区の担当という考えは面白いと思うので、研究を深めていきたい。



子育てには地域のコミュニティも重要です。

議員定数・議員報酬が改正になりました

令和3年第1回定例会において、八雲町議会議員定数条例と八雲町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正が賛成多数で可決されました。

また、選挙運動の公費負担に関する条例の制定についても、賛成多数で可決されました。

議員定数の改正

人口減少や、議員のなり手不足の問題もあり、議会改革のひとつとして、現行の定数を16名から14名に改正しました。

次の議会議員選挙（令和3年10月）から適用になります。



議員報酬の算定根拠を明確に！

八雲町の議員報酬は、社会情勢や地域の環境の変化に伴って議会活動も変化してきている中において、現在まで見直しがされていなく、算出根拠も不明確でした。一方で、全国的に議員のなり手不足が問題となっており、環境整備の必要性が議論されてきています。

このような現状から、議員報酬は役務の対価であるという考えの基、算定の根拠を明確にするために協議・検討を行ってきました。

算定根拠に基づき、報酬月額を算出

算定の根拠を明確にするため、議員の活動量を数値化し、町長の活動量に対する議員の活動量の比率をもって算出する「原価方式」を採用。それに基づいた報酬月額を算出しました。

改正後の報酬月額は令和3年11月支給分から適用になります。

	議 長	副議長	委員長	議 員
現行の報酬月額	295,000円	230,000円	205,000円	195,000円
改正後の報酬月額	340,000円	275,000円	255,000円	243,000円

選挙運動の公費負担に関する条例を制定

選挙運動用の自動車借り上げ料、ビラ作成、ポスター作製などについて、公費負担の額を定める条例が制定されました。

議員の「なり手不足」の解消に繋がっていくことを願います。

まちの未来を創っていききたいあなた、ぜひ立候補を！

定例会・臨時会議件一覧

令和3年第1回臨時会（令和3年1月21日）			
議案第1号	令和2年度八雲町一般会計補正予算（第14号）	報告第3号	専決処分の報告について （奨学金の返還に関する訴えの提起について）
報告第1号	専決処分の報告について （奨学金の返還に関する訴えの提起について）	報告第4号	専決処分の報告について （奨学金の返還に関する訴えの提起について）
報告第2号	専決処分の報告について （奨学金の返還に関する訴えの提起について）		
令和3年第2回臨時会（令和3年2月24日）			
議案第1号	令和2年度八雲町一般会計補正予算（第15号）	報告第1号	専決処分の報告について （損害賠償額の決定について）
令和3年第2回定例会（令和3年3月10日～17日）			
議案第1号	令和3年度八雲町一般会計予算	議案第22号	指定管理者の指定について
議案第2号	令和3年度八雲町国民健康保険事業特別会計予算	議案第23号	指定管理者の指定について
議案第3号	令和3年度八雲町後期高齢者医療特別会計予算	議案第24号	指定管理者の指定について
議案第4号	令和3年度八雲町介護保険事業特別会計予算	議案第25号	指定管理者の指定について
議案第5号	令和3年度八雲町熊石地域簡易水道事業特別会計予算	議案第26号	指定管理者の指定について
議案第6号	令和3年度八雲町下水道事業特別会計予算	議案第27号	令和2年度八雲町一般会計補正予算（第16号）
議案第7号	令和3年度八雲町農業集落排水事業特別会計予算	議案第28号	令和2年度八雲町病院事業会計補正予算（第6号）
議案第8号	令和3年度八雲町病院事業会計予算	議案第29号	令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
議案第9号	令和3年度八雲町水道事業会計予算	議案第30号	令和3年度八雲町一般会計補正予算（第1号）
議案第10号	八雲町議会議員及び八雲町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
議案第11号	八雲町一般職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	発委第1号	八雲町議会議員定数条例の一部を改正する条例
議案第12号	八雲町税条例の一部を改正する条例	発委第2号	八雲町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
議案第13号	八雲町地域会館等条例の一部を改正する条例	発議第1号	高齢者の医療費窓口負担の現行1割の継続を求める意見書
議案第14号	八雲町国民健康保険条例の一部を改正する条例	発議第2号	国民健康保険料の子ども均等割減免の拡充に関する意見書
議案第15号	八雲町介護保険条例の一部を改正する条例	発議第3号	小中高全体で30人学級を早く実施することを求める意見書
議案第16号	八雲町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	発議第4号	30年までの温室効果ガスの削減目標を引き上げ、気候変動対策を抜本的に強めることを求める意見書
議案第17号	指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の公布に伴う関係条例の整理に関する条例	発議第5号	選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書
議案第18号	八雲町町道の構造の技術的基準等を定める条例及び八雲町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	発議第6号	コロナ禍における地域経済の活性化と米価暴落対策を求める意見書
議案第19号	八雲町公共下水道条例の一部を改正する条例	予算特別委員会審査報告	
議案第20号	八雲町集落排水施設条例の一部を改正する条例	議会運営委員会の閉会中の継続調査申出書	
議案第21号	指定管理者の指定について		

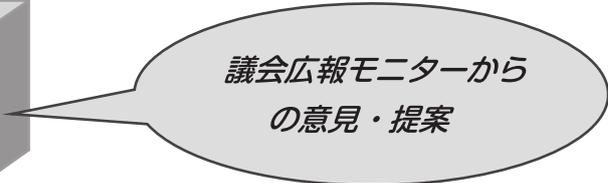
異議あり!

第1回定例会 賛否一覧 (反対のあった議案を掲載)

賛成 ○ 反対 ×

議 件 名	採決結果	関口正博	佐藤智子	横田喜世志	齋藤實	大久保建一	赤井睦美	三澤公雄	田中裕	牧野仁	安藤辰行	宮本雅晴	千葉隆	黒島竹満	能登谷正人
議案第1号 令和3年度八雲町一般会計予算	可 決	○	×	×	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	/
発委第1号 八雲町議会議員定数条例の一部を改正する条例	可 決	○	×	×	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	/
発委第2号 八雲町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可 決	○	×	×	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	/
発議第1号 高齢者の医療費窓口負担の現行1割の継続を求める意見書	否 決	×	○	○	×	×	○	×	欠	×	×	欠	×	×	/
発議第2号 国民健康保険料の子ども均等割減免の拡充に関する意見書	否 決	×	○	○	×	×	×	×	欠	×	×	欠	×	×	/
発議第3号 小中高全体で30人学級を早く実施することを求める意見書	否 決	×	○	○	×	×	○	×	欠	×	×	欠	×	×	/
発議第4号 30年までの温室効果ガスの削減目標を引き上げ、気候変動対策を抜本的に強めることを求める意見書	否 決	×	○	○	×	×	○	×	欠	×	×	欠	×	×	/
発議第5号 選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書	可 決	×	○	○	×	×	○	○	欠	×	×	欠	○	○	/

※能登谷正人議長は、賛否同数の場合にその可否を決定します。



議会広報誌第68号について、議会広報モニターの皆さんからご意見・ご提案をいただきました。

記事の内容について

- ・議件一覧は必要なんですよ。賛否一覧 (反対のあった議案) だけではダメなのではないでしょうか。
- ・「核のゴミ」・・・八雲町では! ?の記事は大切な報告だと思った。
- ・YouTube での視聴方法の紹介は、トライしてみようという人たちが増えることを期待している。

誌面 (レイアウト等) について

- ・委員会活動のページは、いつも文字いっぱいだと圧迫感を感じる。

その他の意見

- ・若い人たちは、紙のものはあまり読まないという難しい状況ではあるが、誌面や記事の工夫とともに、「耳をすまして」のように、町民の声を聴く活動を、地道に続けながら、少しずつ周知していただくことが大切。



これらの意見等について、広報広聴常任委員会で検討し、今後の誌面づくりに活かしていきます。

常任委員会 の活動

令和3年2月から4月の
各常任委員会の活動です。

文教厚生

所管各課から報告を受けた中で
主なものをお知らせします。

【八雲総合病院】

令和2年度決算見込みと、経営
アドバイザーを導入した結果の
事業効果について、報告がありま
した。

決算見込みは、一般会計から約
12億円を繰入していることにより、

内部留保資金が3億円以上確保さ
れています。また、経営アドバイ
ザリーの導入により、年間約1億
9千万円の効果があつたことも報
告されました。

八雲総合病院 令和2年度決算見込み

令和3年1月末現在

	令和2年度 (決算見込み)	令和元年度 (決算)	R1-R2	対前年比
収益総計 A	52億 5,099万2千円	51億 6,306万7千円	8,792万5千円	101.7%
費用総計 B	54億 7,689万8千円	54億 4,900万5千円	2,789万3千円	100.5%
差引収支 A-B	△2億 2,590万6千円	△2億 8,593万8千円	6,003万2千円	79%
内部留保資金	3億 3,705万7千円	8,230万7千円	2億5,475万円	409.5%

4月からは、内科医が5名にな
り、月・金は午後診療も行います。
耳鼻咽喉科も常勤医となり、外来
受付時間が15時30分まで延長され、

更に利用しやすくなりました。

医療従事者は、2回目のワクチン
接種がほぼ終了しました。



高齢者施設等は
4月26日から接
種が始まってい
ます。75歳以上
の高齢者は5月
10日から接種を
行う予定です。

議会報告会の意見交換の場で必
ず出てくる話題は、総合病院です。
もちろん、町民の皆さまもそれだ
け心配しているということなので、
ありがたいことです。だからこそ、
働く人にとっても町民にとっても、
信頼できる病院であってほしいで

すね。

そのために議会としても、しつ
かりと勉強し、取り組んでいかな
ければなりません。町民が健康で、
病院のお世話にならないのが一番
ですが、コロナや高齢化に伴う身
体の衰えを考えると、必ずお世話
になる時が来るので、みんなで支
え合っていきたいですね。

八雲町では新型コロナウイルス
の感染は見られませんが、成
人式の再延期や、山行列が2
年続けて中止することが決まっ
ています。また、児童生徒のマ
スクを着用しての登校や給食の
黙食など、コロナの間接的な影
響は大きいですね。

いよいよ八雲町でもワクチン
接種が始まります。国の動向が
わからないため、八雲町にいっ
どのくらいのワクチンが届くの
かは、今のところわからないよ
うですが、順調に接種できるこ
とを願います。

所管各課から報告を受けた中で
主なものをお知らせします。

●八雲町水産試験研究施設の研

内容報告（産業課・水産課）

ダルス（紅藻類の海藻）の栽培

令和2年度は収穫量アップを目標に試験栽培を行いました。

成果

- ・付着板を用いた栽培では天然より細かいが、1ヶ月で1mにつき約2kgの収穫が可能。
- ・2ヶ月で幅が5mmに生長（天然ダルスより細い）
- ・4ヶ月程の時間をかけると天然のような幅が1cm以上に生長。

問題点

- ・葉の伸長を優先すると、幅が出ない。幅を出すには、生長に時間がかかる。

令和3年度計画

- ・短期間での収穫量増を狙える栽培手法の検証。

- ・陸上養殖ではスプラウト（若い芽）での市場期待が高いため、成熟状況を追跡する。

●サーモン養殖試験事業の経過報告（産業課・水産課）

令和2年度（2サイクル目）

	数量	総重量
熊石地域	1,628尾	1,440g
落部地域	1,733尾	1,530g
陸上養殖	86尾	84g

搬入日 令和2年12月26、29日

令和3年度（3サイクル目）計画

- ・熊石地域に大型イケス（20m型・収容可能数5000尾）整備
- ・事業推進協議会（八雲町漁協・落部漁協・ひやま漁協・町内加工販売業者）を組織
- ・さけ・ます内水面水産試験場道南支場（熊石鮎川町・令和4年3月廃場予定）をサーモン種苗の生

産に活用するため、北海道及び関係機関と協議。

●空家解体推進事業補助金について（建設課）

空家の除却を推進し、町民の安全で安心な居住環境の形成を図ります

対象事業

- ・敷地を更地にすること。
- ・建替えを目的としない。
- ・公共事業等による移転は対象外。
- ・対象工事は町内事業者に請け負わせる。

対象空家

- ・個人所有の町内に存するもの。
- ・今後1年以上にわたり居住されないことが見込まれる。
- ・所有権以外の権利が設定されていない。
- ・賃貸事業に供したことがない。
- ・所有権を取得した時から1年以上を経過していること。

補助金額（上限50万円）

- ・対象経費の2分の1、もしくは標準除却工事費の2分の1のいずれか低い金額。

●飲食店等取引事業者（酒類販売）支援事業について（商工観光労働課）

対象事業者（20事業者を想定）に対し、一律30万円の支援金を給付します。



住民投票条例について考える！

総務経済常任委員会では、住民投票条例の仕組みなどについて、今後、勉強会を行ってまいります。

提案者（三澤委員長）

「その時々、直近の町民の考えを知る」という観点から、一定の署名が集まれば、住民投票ができ、民意を反映した議論ができるのではないかと。

委員の意見

個別型や常設型のどちらが有効なのかなど、多くの事例を参考に研究したらどうか。

既存の条例を含めて、議会をもっと活用してくれるような工夫を考えることの方が大事。

耳を すまして

町民の皆さまの声が聞きたくて、議会を飛び出し町内の色々な団体やサークルなどの皆さまの声を聞いてみました。今回は

ドイツ北部の町ハンブルクから八雲町に移住した

ロビン・フランク さんです！

Q 日本に来たきっかけは？

もともと仏教や座禅に興味があったこともあり、2016年に友人と東京や京都を旅行しました。それから毎年、日本に旅行で来ていましたが、もっと日本の文化を経験するため、長く滞在できるワーキングホリデーを使い、2020年3月に北海道に来ました。

Q 北海道の中でも八雲町を選んでくれたのはなぜ？

暑いのは苦手です、ドイツのように涼しい気候の八雲が気に入りました。もともと田舎のほうが暮らしやすいと思っていましたし、ちょうどいい人口規模で、海も山もある自然豊かな八雲が好きです。

Q 昨年、八雲町在住の奥様と結婚されましたけど、八雲町には永く住みたいですか？

現在手続き中のビザが取れたら、永住したいと考えていますし、自分の家を建てるのが夢です。

Q 生活に対する新型コロナウイルス感染症の影響はありましたか？

奥さんをドイツに連れて行って家族に会わせたいが、帰れないので毎週テレビ電話で話をしています。

Q 日本以外の国も旅行しているのですか？

幼い頃から旅行はしていて、ヨーロッパの



国々は大体行きました。ドイツではバカンスが長く、1年に3ヶ月ほど休みがあるので、何回も旅行を楽しめます。

Q 日本人のイメージは？

とても行儀が良く、他人の邪魔をしない。仕事熱心で真面目でドイツ人に似ていると思います。

Q 好きな日本食は？

オムライス、いなり寿司が好きです。(笑)

・・・取材を終えて・・・

日本で暮らし始めてちょうど1年のロビンさんですが、とても流ちょうな日本語で控えめに話してくれました。まちづくりには「若者・よそ者・馬鹿(になってやる)者」が必要と言われていますが、これからもグローバルな視点で、新鮮な意見を聞かせて欲しいと思いました。



営利を目的とする場合を除き、この議会広報誌をそのまま読むことが困難な方のために、録音図書・拡大写本等へ複製することを認めます。製作後は八雲町議会事務局(☎0137-62-2388)へご報告ください。

編集後記

半世紀にわたり噴火湾において受け継がれてきたホタテ養殖事業。今までもその歴史の中で再三、事業の存続にかかわる危機に直面してきたが、都度、漁業者たちは苦しみながらも、その危機を乗り越えてきた。しかし、近年のホタテのへい死問題にコロナ禍の影響も加わったことは、漁業者にとって一層の死活問題となっており、一刻の猶予もない現状となっている。当町においては、北大との水産試験研究事業、サーモン養殖試験事業など、水産業の持続可能性を探る取り組みを積極的に行っているが、いずれも一朝一夕のものではない。町の重要な基幹産業のひとつである漁業の安定のためには、漁業者、漁協、町による今まで以上の連携強化が何より大切だと感じる。

議会広報広聴常任委員会

関口 正博